

政策シート

(政策名) 動物園の再生
(予算費目名) 動物園費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

市民が憩い楽しめる動物園とするための運営を行う。
動物園の再生に向けて運営の改善を続け、入園者数の増加が来園者便施設や獣舎などの改善へとつながる好循環を生み出すことができるよう、職員が意思を共有し、努力を続けます。
老朽化した園内施設については、動物の福祉向上、特性・特徴などの魅力を引き出す展示ができる飼育施設や、来園者の快適性向上を図る休憩施設などの便施設への再整備を進める。
来園者、リピーターの増加と満足度向上を図るため、動物ガイドや動物とのふれあい、クイズラリーなどのイベントを充実させる。
また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営をすすめる。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑪都市	⑮陸上資源				
-----	-------	-----	-------	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	726,625	384,052				
決算	236,381					
人件費(A)	261,160	257,760				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	497,541	641,812				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入園者数	人	目標	375000	375000	385000	390000	395000	400,000
		実績	322855					
イベント参加率	%	目標	30	30	30	30	30	30
		実績	33.2					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民が憩い楽しめる動物園とするための運営を行った。
平成28年9月に策定した浜松市動物園再生基本計画に基づき事業を展開した。
動物園の再生に向けて運営の改善を続け、入園者数の増加が来園者便施設や獣舎などの改善へとつながる好循環を生み出すことができるよう、職員が意思の共有を図った。
来園者、リピーターの増加と満足度向上を図るため、動物ガイドや動物とのふれあい、クイズラリー、どうぶつのウンチ展などのイベントを実施した。
また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営を進めた。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

平成26年度から取り組んできた動物園再生計画の策定を通じて、職員間で再生の方向性を共有することができた。運営面では、改善できることは先行して改善を図った。
入園者数は、夏場の酷暑と整備工事に係る休園のため、目標を下回ったが、イベントの開催等各種取り組みによりイベント参加率については、目標をほぼ達成することができた。
いのちの教育事業として、以前より校外学習や遠足用として実施したイベントを含め、平成29年4月から運用してきた教育プログラムの体系を整理するとともに、新たに「地域ねこ」に関するDVDを作成し、多くの方に楽しく学んでもらうことができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	動物園施設維持管理事業				○	297,584	141,984	20.8	1.3		1.9	
2	動物愛護教育センター事業				○	102,264	36,064	8.6	0.5		1.5	
3	各種イベント開催事業					12,077	6,617	0.7			0.2	
4	傷病野生鳥獣保護事業					5,499	959	0.3	0.6		0.1	
5	動物購入事業					12,100	10,000	0.3				
6	施設整備事業		○	○		157,442	140,862	1.9	0.6		0.4	
7	公園敷地借上事業					17,352	15,952	0.2				
8	公園用地取得事業					30,224	29,524	0.1				
9	動物園施設整備基金積立金					702	2	0.1				
10	動物園運営経費					6,568	2,088	0.6			0.1	
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						641,812	384,052	33.6	3.0		4.2	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
03 03 10 01 002165000 01

(担当課)
動物園

(責任者)
岩淵 肇

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 動物園施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

入園者が安全で安心して快適に利用できるように施設の維持管理をおこない、あわせて市民への憩いの場を提供し、命の大切さ・きずなの尊さを伝え、豊かな社会性を養うことを目的とする。

◇事業の概要

- 入園者が快適に利用してもらうための維持管理
- 展示動物等の飼養管理
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究
- 飼育実習生の受入…県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行なう。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	140,388	141,984				
	決算	140,010					
	国・県支出						
	市債						
	その他	44,492	48,118				
	一般財源	95,518	93,866				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		155,120	155,600				
人工	正規	20.8	20.8				
	再任用(h31)	0.7	1.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	1.9				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

汚水処理施設の管理運営により、園内で排出される水を浄化、再利用することで外部への排出を削減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
入園者数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	370000	375000	375000	385000	390000	395000	400,000
実績値	363464	322855					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 入園者が快適に利用してもらうための業務委託 汚水処理施設維持管理業務
- 展示動物等の飼養管理
- 飼育実習生の受入…主に県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行った。
中学生・高校生 18人、大学・専門学校 17人
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・入園者数 322855人
- ・繁殖動物 フサオマキザル 1頭、クロキツネザル 1頭、ドグエラヒヒ 1頭、マンドリル 1頭、カピバラ 4頭、アミメキリン 1頭、レッサーパンダ 2頭、クロヒョウ 2頭
- ・飼養管理の効率化及び飼育作業環境の維持を図るため、冷蔵庫等備品の更新を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。近年、動物の展示方法が個体展示から行動展示へと変化しているが、対応するには大幅な施設改修が必要。現在の飼育動物種、飼育施設をもとに動物の魅力を伝える展示手法(解説も含めて)への改善を常に心掛ける必要がある。

動物園が市民の憩いの場としてだけでなく、教育との連携をより一層図っていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。来園者ニーズを的確にとらえ、運営改善を常に念頭に置き、魅力あるイベントの開催や、動物解説などの充実を図ることで、さらなる入園者数の増加が施設整備につながる好循環を目指す。

事業シート (事業名) 動物愛護教育センター事業

◇事業目的・事業対象

家庭動物の飼育指導や新たな飼い主への譲渡などの事業を行なう動物愛護・教育センターの効率的な施設管理を行うとともに、動物園の第2種事業所として効果的な事業実施体制を構築する。また、家庭動物の譲渡活動及び飼主責任の啓発を中心とした愛護事業を進めると同時に、動物を切り口とした教育事業の展開を図る。

◇事業の概要

- ① 庁舎管理経費
電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など
- ② 動物愛護法関係事業
迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など
- ③ 教育事業の推進
学年別・習熟度別、動物種別のプログラムを作成したDVD等を使用し、動物園、各教育機関等と連携し、「いのちの教育事業」を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(法令義務)	動物の愛護及び管理に関する法律	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	36,884	36,064				
	決算	34,282					
	国・県支出						
	市債						
	その他	165	115				
	一般財源	34,117	35,949				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		70,520	66,200				
人工	正規	9.2	8.6				
	再任用(h31)	0.3	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.8	1.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

家庭動物等に関する教育プログラムの実施により、ペットに対する関心を高め理解を深める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
犬の返還譲渡率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	97	97	97	98	98	98	98
実績値	97.6	98.9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
猫の生存率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	58	60	62	63	65	67	70
実績値	71.2	61.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
教育活動実施回数(回/人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	110/5,000	140/6000	140/6000	145/6200	150/6300	150/6400	150/6500
実績値	149/7,346	106/5040					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>①庁舎管理経費 電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など</p> <p>②動物愛護法関係事業 迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など</p> <p>③教育事業の推進 教育関係者等と協力してのちの教育事業プログラムの拡充を図る。</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 進んでいる</p> <p>・譲渡事業:動物ボランティア譲渡活動推進事業及びセンターでの譲渡推進の結果、殺処分数が減少。課題としては、攻撃的性質の犬及び野犬の存在等により殺処分ゼロが未だ困難である。また、所有者不明子猫の引取り数を減少させていくことが生存率を上昇に繋がる。</p> <p>・教育事業:動物園とも協力し、件数及び受講者が増加。教育プログラム冊子の作成。教育委員会及び各学校への周知を行い増加を目指す。</p> <p>・その他 飼い主啓発事業:しつけ方講習会(10回)、譲渡時の飼い主責任啓発指導実施、浜松市動物愛護推進員委嘱、野良猫との共生推進事業:地域の環境悪化防止とともに所有者不明子猫の引取り数の削減に寄与した。</p>

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

センター開所以来、殺処分数は年々削減してきたが今後については、収容動物過多時の対応、譲渡適正判断の適正化、動物ボランティア・獣医師会等の関係団体との連携、飼い主啓発事業及び教育事業の継続・拡大が重要となる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

現在、協力をいただいている動物団体ボランティア、獣医師会、動物取扱業者等の人的資源を活用し、飼い主責任の啓発、譲渡事業、教育事業に取り組む。そして、「いのちの教育事業」で作成したDVD等を使い、動物園と協力して子供達に動物愛護を育むために、動物園動物や犬猫を題材にした講座を開催する。

事業シート (事業名) 各種イベント開催事業

◇事業目的・事業対象

入園者が各種のイベントに楽しみながら参加して、動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらう。

◇事業の概要

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、クイズラリー、ニューイヤーフェスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。また、定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。
令和2年度は、特別企画展として「どうぶつの「め」」を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,090	6,617				
	決算	5,717					
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,717	6,617				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		4,760	5,460				
人工	正規	0.6	0.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.a	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

動物関連イベントの実施により、動物に対する知識・関心ならびに動物園の役割について理解を深める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
イベント参加率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30	30	30	30	30	30	30
実績値	36.2	33.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、ナイトZOO、クイズラリー、ニューイヤーフェスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。また定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。平成30年度は、特別イベントとして「どうぶつのほね展」を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

定例的な春・秋の写生大会、写真コンクール、ナイトZOOなどの開催に加え、平成30年度は、特別イベントとして「どうぶつのほね展」を実施した。

また、ウオット、竜洋昆虫公園と3施設合同企画「危険生物展」を実施した。

各種イベント参加率(イベント参加者/総入場者数)は36.2%となった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各種イベントを通して、入園者に間近に見る野生動物の不思議や動物愛護や自然保護についての意識啓発をするための教育活動を引き続き行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

野生動物に関する知識を広めるとともに動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらうイベントやオリジナルのあるイベントを継続して開催し、来園者ニーズに対応するとともに集客力を高めていく。
また、官民連携事業や産学官連携事業等を実施し、魅力ある動物園をPRし入園者数の増加を図る。

令和2年度

(管理番号)

03 03 10 01 002165000 04

(担当課)

動物園

(責任者)

岩淵 肇

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 傷病野生鳥獣保護事業

◇事業目的・事業対象

静岡県から業務委託を受け、傷ついたり、病気を患った野生の鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然へ復帰させることにより、自然環境や生態系を保全する。

◇事業の概要

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	959	959				
	決算	959					
	国・県支出	959	959				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		4,460	4,540				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)	0.5	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

負傷野生動物の保護、治療及び放鳥獣により野生動物の保護、多様性に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
傷病鳥獣自然復帰率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30	30	30	30	30	30	30
実績値	34.2	22.6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。
令和元年度は哺乳類2頭、鳥類29羽を受け入れ、鳥類7羽を自然復帰させることができた。
また、静岡県との協議、連携により、保護対象外鳥獣の持ち込み相談が減少。市民への啓発が進んでいる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

令和元年度傷病野生鳥獣保護状況

保護頭、羽数()内は自然復帰頭・羽数

・哺乳類 2(0) ・鳥類 29(7) …計31(7) 22.6%

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、契約内容に基づき受託事業を行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

保護された傷病野生鳥獣の収容・治療は、受託業務として動物園が行うが、保護の可否についての判断や治療後の放鳥獣は、県が行うこととなっている。

今後も市民などからの通報に適切に対応できるよう、県と連携し、情報の共有化と業務の適正化を図るとともに、市民への鳥獣保護思想の普及・啓発に努めていく。

また、委託料の増額について、県と協議していく。

事業シート (事業名) 動物購入事業

◇事業目的・事業対象

展示動物導入計画に沿った展示動物の購入及び他園との搬出入、動物交換などを行う。

◇事業の概要

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物賃貸、新規動物購入や死亡、動物の補充などを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	10,000	10,000				
	決算	1,669					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,669	10,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,100	2,100				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.a	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	○ 15.5
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

飼育動物の購入又は他の園館との貸借等による交換により、希少動物の繁殖等を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
契約件数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	5	5	5	5	5	5
実績値	7	5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物貸借、また、新規動物購入や死亡動物の補充などを行う。

ロバ雄1頭を展示動物充実のために購入した。また、フランソワルトン雌1頭を横浜市よこはま動物園から、アカテタマリン雄2頭を静岡市日本平動物園から繁殖のために借り受けた。

当園で繁殖したアミメキリン雄1頭とヒゲザキ雌2頭を等価交換した。同じく、コモンマーモセット雄1頭とクロミマーモセット雄1頭を。ワオキツネザル雄1頭とルリコンゴインコ雌1羽を、カピバラ雄1頭・雌3頭とヒドリガモ雄1羽・雌1羽、ホシハジロ雄1羽・雌1羽を等価交換した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

令和元年度実績

- ・購入動物:ロバ♂1
- ・借受動物:フランソワルトン♀1(横浜市)、アカテタマリン♂2(静岡市)
- ・動物交換:アミメキリン♂1を静岡市と契約解除し、ヒゲザキ♀2と等価交換。コモンマーモセット♂1とクロミマーモセット♂1を静岡市と等価交換。ワオキツネザル♂1とルリコンゴインコ♀1を豊橋市と等価交換。カピバラ♂1♀3とヒドリガモ♂1♀1、ホシハジロ♂1♀1を株式会社栄豊と等価交換
- ・借受解除:ユキヒョウ♂1(東山動物園所有、札幌市へ搬出)
- ・譲渡し:ラム♀1(川原鳥獣)、エミュー♂1・♀2(川原鳥獣)
- ・帰属先への搬出:クロヒョウ♀1(平川動物園)、コモンマーモセット♂2・♀2(日本モンキーセンター)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

希少動物の繁殖は、種の保存のみならず動物園の魅力の拡大につながることから、状況を的確に判断して、最小の経費で導入し効果が上がるように努める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

動物園再生計画で策定したコレクションプランに沿って、飼育体制を整え、動物の導入を図っていく。

事業シート (事業名) 施設整備事業

◇事業目的・事業対象

ユニバーサルデザインに配慮した、入園者が安全で安心して動物を観覧できるように施設の再整備を進め、併せて展示動物の生態、行動、福祉に配慮した飼育環境を提供する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.168】

浜松市動物園は、松城町(現在の浜松城公園)に昭和25年11月に県内初の動物園として開園したが、敷地が狭いことや施設の老朽化、あるいは浜松城公園の整備が進んできたことから、昭和58年4月に現在の舘山寺総合公園内に移転・開園した。舘山寺総合公園への移転・開園後、35年余が経過しており、施設や設備の老朽化が著しいため、施設の維持管理とともに、優先順位を決め、計画的に施設整備・改修をしていく必要がある。

そのような中、平成28年度に「いのちの教育」を柱とした浜松市動物園再生基本計画と策定した。この動物園再生基本計画に基づき、施設整備を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	511,419	140,862				
	決算	33,717					
	国・県支出		30,228				
	市債						
	その他						
	一般財源	33,717	110,634				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		16,920	16,580				
人工	正規	2.0	1.9				
	再任用(h31)	0.5	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

飼舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
整備件数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	1	1					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
いのちのふれあいゾーンの整備							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	実施設計	実施設計・整備工事	整備工事				
実績値	実施設計	実施設計・整備工事					168
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

令和元年度の主な工事としては、汚水処理・堆肥化設備改修工事、ユキヒョウ舎空調修繕工事、昆虫館等修繕工事、類人猿舎電動シャッター修繕工事等を行った。
いのちのふれあいゾーン整備事業については、仮設園路の設置、造成工事を一部実施した。
委託業務としては、給排水設備整備工事の実施設計を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

主な工事

- ・汚水処理・堆肥化施設改修工事
- ・ユキヒョウ舎空調機修繕工事
- ・昆虫館等修繕工事
- ・類人猿舎電動シャッター修繕工事
- ・いのちのふれあいゾーン整備工事

委託業務

- ・給排水設備整備工事実施計画委託業務

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

平成28年9月に策定した動物園再生基本計画に基づき、汚水処理施設等、基盤施設の抜本的な整備及びいのちのふれあいゾーンの整備を行うことから、事業費・人工とも拡大させる。

補助シート

(事業名) 施設整備事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
168	・再生基本計画に基づき、いのちのふれあいゾーンの整備工事(仮設工事等)を行う。排水設備について実施設計を行なう。	いのちのふれあいゾーンの整備工事を行い、給排水設備整備工事の一部を実施。 いのちの教育事業の見直しを進める。 また、老朽化したトイレの整備工事の実施設計を行う。	いのちの教育プログラムを実施 老朽化した園舎の整備工事の実施設計を行う	いのちの教育プログラムを実施 老朽化した園舎の整備工事の実施設計を行う
〇〇				

令和2年度

(管理番号)
03 03 10 01 002165000 07

(担当課)
動物園

(責任者)
岩淵 肇

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 公園敷地借上事業

◇事業目的・事業対象

将来に向けて、引き続き館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため。

◇事業の概要

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。

借地内訳

R2.4.1現在(H31.4.1現在)

借地面積 89,841㎡ (89,841㎡)

所有者数 27名-28件 (27名-28件)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	-	一般会計	自治事務(その他)	公有財産管理規則	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	16,497	15,952				
	決算	15,951					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,951	15,952				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
公園内民有地の借り上げ契約率							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。

借地内訳

R2.4.1現在(H31.4.1現在)

借地面積 89,841㎡ (89,841㎡)

所有者数 27名-28件 (27名-28件)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

館山寺総合公園用地を借り上げるにより、市民等の憩いの場として提供し、動物や花木を通して多くの人に感動を与え、いのちの大切さや自然環境保護を伝える事業が安定的に維持、継続できた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園の安定的に継続して運用するため、浜松市資産経営推進方針に基づいて、適正な価格で借地契約を行う一方で、予算を投入し借地の解消に努める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園用地の借地地権者からの土地買取り申し出に対しては、借地解消に向けて積極的な取得を進める。

令和2年度

(管理番号)

03 03 10 01 002165000 08

(担当課)

動物園

(責任者)

岩淵 肇

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 公園用地取得事業

◇事業目的・事業対象

将来に向けて館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため、現在の借地を買収し市有地とする。

◇事業の概要

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なう。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	昭和58年度	公有地の拡大の推進に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,168	29,524				
	決算	2,126					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,126	29,524				
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

継続的に公園用地の取得に努め、動物園の安定的な運営と利用者の利便の向上を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
公園内民有地借上げ契約数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	28	28	26	25	25	25	25
実績値	0						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なった。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

借地契約件数28件中、売買契約は成立せず。借地は解消されなかった。

○H25当初借地総面積244,435㎡中、借地解消面積154,593㎡ 合計執行率 63.2%(前年度同様)

○H25当初借地料54,128,448円はR元年度借地料15,951,032円となり、38,177,416円の借地料を減額できた。減額率70.5%

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して本事業を実施し借地解消を図る。

令和2年度

(管理番号)

03 03 10 01 002165000 09

(担当課)

動物園

(責任者)

岩淵 肇

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 動物園施設整備基金積立金

◇事業目的・事業対象

浜松市動物園施設整備基金の適正な管理をおこなう。

◇事業の概要

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、元金と基金運用収入を積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市動物園施設整備基金に関する条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2	2				
	決算	2					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2	2				
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

動物の購入や獣舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、基金運用収入を積み立てる。元金に対する運用収入が確定(1,097円)した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

施設整備基金 現額 15,566,109円(H31.3末現在) 上半期利子269円 下半期利子828円 計1,097円

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、基金の管理を継続する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金の管理を継続する。

令和2年度

(管理番号)

03 03 10 01 002165000 10

(担当課)

動物園

(責任者)

岩淵 肇

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 動物園運営経費

◇事業目的・事業対象

安全で適正な施設管理運営を行う。

◇事業の概要

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,218	2,088				
	決算	1,948					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,948	2,088				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		4,480	4,480				
人工	正規	0.6	0.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

職員が各種研修等に参加することで資質の向上を図り、いのちの教育プログラムを充実、発展させる。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

動物園を運営する経費の中で、他の園館の展示動物の情報を得ることが本事業の大きな目的である。特に、(社)日本動物園水族館協会主催の総会、獣医研究会、飼育員研修会などへ参加して、様々な動物の治療方法やトレーニング方法などの情報を得ることができ、それを当園の展示動物に対して行うことで、効率的かつ安全な治療ができるなどの効果があった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。